



市議会だより

まほるば



ちりめん小唄でパレード

(京丹後ちりめん祭り)

3月議会レポート

一般会計予算	2~3
特別会計予算	4~5
条例 他 / 臨時議会	6
補正予算	7
代表質問	8~10
一般質問	11~19

2005年 第4号

● 6月定例会予定 ●
6月2日 本会議 (招集日)
6月7日 補正予算
6月13日~15日 一般質問
6月24日 本会議 (最終日)

一般会計予算総額289億8,000万円

賛成26人
可決

平成17年3月定例議会は、3月2日に開会され、3月29日までの28日間で、閉会しました。
平成17年度一般会計予算と各特別会計・企業会計予算17件、条例の制定3件、条例の一部改正11件、一部事務組合の規約の変更等8件、土地改良事業の施行1件、市道路線の変更3件、辺地計画の変更1件、辺地計画の策定1件、16年度補正予算12件、付帯決議1件、計58件を審査し、いずれも原案を可決しました。

【歳入】

区分	平成17年度	構成比	平成16年度	構成比	対前年度増減額(率)		
依存財源	地方譲与税	6億0,600万円	2.1	4億7,500万円	1.3	1億3,100万円	27.6
	利子割交付金	2,700万円	0.1	5,000万円	0.1	△2,300万円	△46.0
	配当割交付金	1,000万円	0.0	1,000万円	0.0	0	0.0
	株式等譲渡所得割交付金	5万円	0.0	500万円	0.0	△495万円	△99.0
	地方消費税交付金	7億4,000万円	2.6	7億2,800万円	2.0	1,200万円	1.6
	ゴルフ場利用税交付金	1,500万円	0.1	1,700万円	0.1	△200万円	△11.8
	自動車取得税交付金	2億6,000万円	0.9	2億5,200万円	0.7	800万円	3.2
	地方特例交付金	1億2,700万円	0.4	1億3,000万円	0.4	△300万円	△2.3
	地方交付税	118億0,000万円	40.7	113億0,000万円	31.7	5億0,000万円	4.4
	交通安全対策特別交付金	980万円	0.0	980万円	0.0	0	0.0
自主財源	国庫支出金	19億2,398万円	6.6	35億4,957万円	10.0	△16億2,559万円	△45.8
	府支出金	15億4,770万円	5.4	26億1,899万円	7.4	△10億7,129万円	△40.9
	地方債	31億5,180万円	10.9	56億7,650万円	16.0	△25億2,470万円	△44.5
	小計	202億1,833万円	69.8	248億2,186万円	69.7	△46億0,353万円	△18.5
	地方税	51億0,288万円	17.6	52億8,292万円	14.8	△1億8,004万円	△3.4
	分担金及び負担金	6億1,902万円	2.1	6億5,907万円	1.9	△4,005万円	△6.1
	使用料及び手数料	7億6,086万円	2.6	8億0,071万円	2.3	△3,985万円	△5.0
	財産収入	2,877万円	0.1	8,026万円	0.2	△5,149万円	△64.2
	寄附金	0	0.0	1,387万円	0.0	△1,387万円	△100.0
	繰入金	13億5,020万円	4.7	15億3,200万円	4.3	△1億8,180万円	△11.9
自主財源	繰越金	3億0,000万円	1.0	0	0.0	3億0,000万円	皆増
	諸収入	5億9,994万円	2.1	24億0,932万円	6.8	△18億0,937万円	△75.1
	小計	87億6,167万円	30.2	107億7,814万円	30.3	△20億1,647万円	△18.7
	合計	289億8,000万円	100.0	356億0,000万円	100.0	△66億2,000万円	△18.6

【歳出】

性質別	平成17年度	構成比	平成16年度	構成比	対前年度増減額(率)		
義務的	人件費	72億2,367万円	24.9	75億7,862万円	21.3	△3億5,495万円	△4.7
	扶助費	28億6,597万円	9.9	26億0,570万円	7.3	2億6,027万円	10.0
	公債費	53億2,927万円	18.4	55億4,776万円	15.6	△2億1,849万円	△3.9
	小計	154億1,891万円	53.2	157億3,208万円	44.2	△3億1,317万円	△2.0
	物件費	48億6,220万円	16.8	54億9,524万円	15.5	△6億3,304万円	△11.5
任意	維持補修費	1億4,420万円	0.5	2億2,589万円	0.6	△8,170万円	△36.2
	補助費等	18億5,899万円	6.4	51億9,241万円	14.6	△33億3,342万円	△64.2
	積立金	3億0,417万円	1.0	3億0,630万円	0.9	△213万円	△0.7
	投資及び出資金	0	0.0	1億1,850万円	0.3	△1億1,850万円	皆減
	貸付金	4,250万円	0.2	1,000万円	0.0	3,250万円	325.0
投	繰出金	30億2,264万円	10.4	29億2,798万円	8.2	9,466万円	3.2
	予備費	2,534万円	0.1	9,986万円	0.3	△7,452万円	△74.6
	小計	102億6,003万円	35.4	143億7,618万円	40.4	△41億1,615万円	△28.6
	普通建設事業費	30億6,824万円	10.6	54億8,990万円	15.4	△24億2,166万円	△44.1
	補助事業	8億6,191万円	3.0	24億5,639万円	6.9	△15億9,449万円	△64.9
資	単独事業	22億0,634万円	7.6	30億3,350万円	8.5	△8億2,717万円	△27.3
	災害復旧事業費	2億3,282万円	0.8	185万円	0.0	2億3,097万円	12505.3
	補助事業	1億4,449万円	0.5	0	0.0	1億4,449万円	皆増
	単独事業	8,833万円	0.3	185万円	0.0	8,648万円	4682.3
	小計	33億0,106万円	11.4	54億9,175万円	15.4	△21億9,068万円	△39.9
合計	289億8,000万円	100.0	356億0,000万円	100.0	△66億2,000万円	△18.6	

主な質疑

問 平成17年度の予算編成にあたっての基本方針と、地域要望に対する考えは。
市長 市民との協働を掲げる上で、予算編成は最重要な作業である。
厳しい財政状況ではあるが、台風災害復旧事業を優先させ、地域要望についても透明性を保持しながら鋭意取り組んでいく。

主な討論

行 行財政改革元年と位置づけて、行革の早期実施、組織機構の見直し経常経費削減職員定数や適正配置の再検討等を考えている。
市 また、直営・三セク、病院等の事業についても運営状況を精査し、根本的に見直しを行いたい。

賛成討論の主旨

財政が厳しく、緊縮型の予算編成を余儀なくされた中で、台風災害復旧事業の優先実施旧町継続事業の確実な実施を基本に、国際交流・文化事業・環境対策等、京丹後市としての新たな方向が垣間見られる予算である。

また、財政健全化に向けて、地方債の減額や歳出削減等、行革の第一歩としての位置づけがされた内容であることを評価し賛成する。

しかし、イベント・補助金のあり方や新規事業、それらの財源確保に関しては、予算執行までに、事業目的、事業計画、費用対効果について十分な検討を行った上で、実行

付帯決議

平成17年度一般会計予算については、賛成者の多くから予算執行にあたっての提案や要望の意見があり、市当局も十分な対応をする旨、答弁があったが、議会の意思を明確に表示するという主旨から付帯決議案が提出されました。
(賛成者多数)

賛成討論の主旨

多くのイベント経費や新規事業が計上されているが、事業内容や事業効果をはじめ、財源確保ならびに支援等について、より一層の精査検討を要するものがある。よって理事者の実行を促す目的で決議に賛成する。
反対討論
問題の指摘が多く出されたが、それらは修正すべきであって付帯決議とするものではない。

京丹後市の借金(地方債)	467億9,400万円
市民一人当たり	71万4,000円
京丹後市の貯金(基金)	27億5,600万円
市民一人当たり	4万2,000円
(一般会計のみ平成15年度末現在高)	

平成17年度一般会計予算に関する付帯決議(要旨)

本予算は、中山市政にとって行財政改革元年の、本格的な予算であるとともに、合併効果をいかに見出すか、その基盤をなす極めて重要な予算である。平成17年度は危機的財政状況のもとで、組織の見直し、経常経費の削減、事務事業の見直し、職員数・職員給与等の適正化を図ることは、誰もが認める懸案事項である。

この観点から、予算精査した結果、継続事業・新規事業について、将来構想に基づいた明確な位置づけと事業効果、併せて事業に関わる財源確保について更なる検討を要する状況にある。

また、地域要望の事業についても、緊縮予算の中で、後退せざるを得ないことについて、市民に説明責任をもって理解と協力を深めていく必要がある。よって、行政効果をもとに検討・査定が指摘された諸々の事業において、その必要性をさらに深め、平成18年度以降も十分に、留意した予算の執行を行うよう強く望むものである。

以上決議する。

京丹後市議会

討論



地域医療の充実を（久美浜病院）

賛成討論
 ◎公共下水道事業
 今後、審議会を立ち上げ水酸化計画の見直しを行うのと、一定の財源を確保されたことを評価し賛成する。

賛成討論
 老朽化した施設整備を行い、安心して水供給のできる予算となつている。料金は、公共性の原則に照らしながら、激減緩和措置が行われており賛成する。

特別会計予算
 ◎簡易水道事業
反対討論
 水は、人間が生きていくのに欠かせない。不況が続く中、昨年に引き続き料金が値上げされ、市民の負担増となる予算になつており反対する。

平成 17 年度特別会計予算 総額 227 億 2,380 万円

国民健康保険事業	59億3,200万円 (全員賛成で可決)
国民健康保険直営診療所事業	4億4,300万円 (全員賛成で可決)
老人保健事業	71億8,000万円 (全員賛成で可決)
介護保険事業	39億6,500万円 (全員賛成で可決)
介護サービス事業	6億9,500万円 (賛成多数で可決)
簡易水道事業	11億2,000万円 (賛成多数で可決)
集落排水事業	3億6,600万円 (全員賛成で可決)
公共下水道事業	28億2,800万円 (全員賛成で可決)
浄化槽整備事業	5,640万円 (全員賛成で可決)
土地取得事業	200万円 (全員賛成で可決)
工業用地造成事業	3,420万円 (全員賛成で可決)
宅地造成事業	9,250万円 (全員賛成で可決)
峰山財産区	710万円 (全員賛成で可決)
五箇財産区	260万円 (全員賛成で可決)

企業会計予算 総額 77 億 4,927 万円

病院事業	67億9,558万円 (全員賛成で可決)
水道事業	9億5,369万円 (全員賛成で可決)

企業会計予算
 ◎水道事業会計
賛成討論
 水洗化率の向上に伴う水需要増にも十分配慮した取水量の確保が必要である。福田川ダムが建設中止になつたが、本来の目的であつた治水

賛成討論
 ◎病院事業会計
賛成討論
 医師の確保に最大の努力を図ることと、京丹後市型の包括医療制度の導入を含め、組織の再編や経常経費の削減、職員数の適正化を図る

ことが急務である。久美浜病院の給食の民間委託について、給食の質が低下して患者への影響が懸念されるが、市立病院として残すための経営努力ととらえ、市立病院としての存続を期待し賛成する。

特別会計予算

総額 227 億 2,380 万円

企業会計予算

総額 77 億 4,927 万円

特別会計予算質疑
 ◎国民健康保険事業
問 滞納はどうなるのか。
答 8カ所以上滞納になると短期証になる。17年度からは資格証明書を出すよう行政指導がある。
問 医療費通知業務の趣旨は。出すことが義務付けられているのか。
答 「医療費はこのように高いのです」を知ってもらうために、絶対しなければならぬ。
◎国民健康保険直営診療所事業
問 間人診療所の収入が大きく減っているがなぜか。
答 人間ドッグが無料だったのが3割負担となり、患者数が減少した。
問 薬剤購入、經理を一括にできないか。
答 薬剤については一括購入の手続きを

している。
◎公共下水道事業
問 加入率が低いのが今後の対応、目標は。
答 経済情勢も影響しており、高齢者世帯は敬遠しがちである。5年程度で70%が目標である。
企業会計予算質疑
◎水道事業
問 福田川ダム中止に関連して、水道計画の大幅な見直しは。
答 早い時期に水道審議会で審議していく。
問 峰山・網野間で上水を融通した場合、峰山の水は水洗化等含めて足りるのか。
答 1日の取水能力は、離湖を除いて6町で1万9574m³。平成25年の取水見込み量は1万8985m³で、569m³上回る。
◎病院事業
問 院外処方とか、ジ



公共下水の工事（峰山地内）

エネルギー薬品の使用比率を高めては。
問 院外処方については、今後取り組みを進めていく。ジェネリック薬品については、現場の医師との話し合いが難しい。
問 久美浜病院では給食が委託されるが、どれくらい安くなるのか。食材は地元のものを使ってもらえるか、質が落ちないか。臨時職員はどうなるか。

答 700万円くらい安くなる。食材はできるだけ地元の物を利用する。選べるメニューができる。11人の臨時職員は、新たな業者が採用する。
問 職員の接遇研修について。
答 弥栄病院では、看護師を中心に年1〜2回専門講師を招いて行っている。投書がある場合は個別指導している。

平成16年度 一般会計及び10特別会計 並びに水道事業会計補正予算

全議案、全員賛成で可決

会計名	補正前歳入歳出	補正額	補正後
一般会計	392億2,637万円	△11億2,086万円	381億0,551万円

特別会計名	補正前	補正額	補正後
国民健康保険事業	65億2,102万円	△796万円	65億1,306万円
国民健康保険直営診療所事業	5億0,988万円	△3,716万円	4億7,272万円
介護保険事業	42億8,157万円	△2,496万円	42億5,661万円
介護サービス事業	7億8,217万円	△384万円	7億7,833万円
簡易水道事業	12億7,579万円	△4,568万円	12億3,011万円
公共下水道事業	49億8,304万円	8,268万円	50億6,572万円
浄化槽整備事業	8,560万円	△1,244万円	7,316万円
土地取得事業	1,200万円	873万円	2,073万円
宅地造成事業	1億円	608万円	1億0,608万円
峰山財産区	800万円	△5万円	795万円

水道事業	既決予定	補正額	補正後決定額
事業費用	6億3,492万円	713万円	6億4,205万円
資本的支出	7億6,681万円	△6,200万円	7億0,481万円



新しい観光拠点に（静神社）

一般会計

問 ゴミ焼却施設解体について当初予算の半分になった理由は、

答 設計金額の立て方を考えたため。

問 静御前関連の観光施設整備事業について、市の発案か地元の要望か。どのような

答 設計金額の立て方を考えたため。

問 観光の目玉として活用していきたい。

答 11億円余りの減額になっていないのか。執行の要因は何なのか。

問 災害が大きな原因だと思ふ。災害がなければ順当にいったらと思う。

質疑

おもな条例・議案



市道延長 弥栄町溝谷 中河原線

◎男女共同参画審議会条例の制定
男女共同参画計画の策定、男女共同参画の推進に必要な事項について、調査・研究及び審議を行うもの。
(全員賛成で可決)

◎公民館条例の一部改正
弥栄町区域の5小学校区及び丹後町区域の間人小学校区に、地区公民館を設置するもの。
(全員賛成で可決)

◎土地改良事業の施行
台風11号により被害を受けた、農地及び農業用施設の災害復旧事業。(丹後町袖志地区)
(全員賛成で可決)

◎市道路線の変更
中河原線
(弥栄町溝谷)
(丹後町)
・竹野小学校線
(丹後町)
・終点の変更
・大成線(丹後町)
・起点の変更
(全員賛成で可決)

◎個人情報保護条例の制定
市が保有する個人情報の開示、訂正及び利用停止を請求する権利を明らかにし、保護するもの。
(全員賛成で可決)

◎情報公開・個人情報保護審議会条例の制定

情報公開・個人情報保護制度について調査審議するもの。
(全員賛成で可決)

◎情報公開条例の一部を改正
情報公開審査会に関する規定を削除し、非公開情報等について整備するもの。
(全員賛成で可決)

◎特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正
外国語指導助手、新専門委員、地区公民館長・主事の報酬を定め、福祉事務所嘱託医の報酬を改定するもの。
(全員賛成で可決)



水路災害復旧農道工事

1月臨時議会

◎土地改良事業の施行(農地及び農業用施設の災害復旧事業)
台風23号により被害を受けた農地及び農業用施設の復旧。
1、現年発生補助農地災害復旧事業(84カ所)
2、現年発生補助農業用施設災害復旧事業(89カ所)
(全員賛成で可決)

◎土地改良事業の施行(小規模農業基盤整備事業)
久美浜町平田地内のかんがい用排水。
(全員賛成で可決)

3月定例議会

代表質問 一般質問

初めての会派代表質問で
新年度施政を問いました。

京丹後市2年目を迎えるにあたって、新年度予算や市長施政方針を議会で問う重要な意義ある3月定例議会でした。

今議会では、会派に属する議員個々が行う一般質問と、会派を代表して行う代表質問の形式で施政を問いました。

厳しい市財政状況の中で、行財政改革や組織機構、合併効果等に関する質問が相次ぎました。

なお、広報掲載は質問の要旨であり、詳細についてのおたずねや、ご意見等ございましたら、各会派構成議員に対して、お気軽にお寄せいただきますようお願い致します。



さあ、はやくしましょ(丹後女子ゲートボール大会)

公明党 代表質問

財政健全化に

どう取り組むのか

市長▼市民参画、協働の視点で

問 施政方針において、市の財政は危機的状況にある、と表明があった。このことから、早急に財政健全化を定め特に人件費、施設の統廃合、外郭団体への出資金などの削減、整理などいっそうの歳出削減を断行しなければならぬ。また協働の姿勢からどう取り組むのか。

市長▼ご指摘のとおりである。今年の夏頃行財政

改革推進委員会の構想をまとめ、18年以降一歩進めて財政健全化、予算編成に努力する。総歳出の4分の1を占める人件費のスリム化は欠かせないが、手当、規模など急ぐのではなく、中・長期的にすべての内容を精査、検討していく必要がある。旧町関連の出資法人への支出は、市としての見直しとこれからのあり方を、検討していかねばならないと思ってい

る。予算のスリム化は市民参画・協働の視点を取り入れて、初めて解決できる問題であると思ってい

望や概算など開示できないか。
市長▼各自治会だけでなく、もともと全体的に予算を開示して、多くの意見を聞きながら編成を進めることは、市民協働の時代にあつて大切なことである。市民、議員と一緒に作っていく思いを、早く取り入れる努力をしなくてはいけないと思ってい

輝友会 代表質問

行政内部の改革を

早期実現すべきでは

市長▼できるものから行っていく

問 市は、18年度を目途に行財政改革を進めているが、市長の強いリーダーシップのもとに行革を早急に実施することができないか。
市長▼行革にリーダーシ

ップは必要だが、市民、職員、関係者との信頼関係が必要だ。丁寧に議論し、最大限速やかに行いたい。

市民局機能・組織

問 各市民局には、地域事情・業務に精通したベテラン職員を配置し、少数精鋭主義で行政効率・サービス等を高めるべきだ。また、市民局の福祉課は、多忙のようだが、市民局機能・組織の見直しは。

市長▼市民局のあり方については、7月頃に一定規模で改革するよう、検討している。

女性職員幹部登用

問 女性職員の能力・視点を生かし、本庁幹部職員に登用されてはどうか。

市長▼有能な女性職員も多いので、積極的に登用していきたい。
直営・ニセク事業
問 市直営事業・公設民営事業の運営状況と、今後の方針は。
市長▼ほとんどの事業は赤字であるが、これらの

入札後、公表を行う。



市民局機能の確立を急げ

新政会 代表質問

待ったなしで行財政改革を

市長▼「行財政改革元年」と位置付けて

問 京丹後市が誕生して1年が経過し、市長就任以来10カ月が経過するが、現時点での認識と感慨を問う。
市長▼合併には市民の熱い大きな期待があつた

が、その効果の見えにくい状況にある。市民の期待に沿うよう夢の持てる京丹後市の実現に向けて全力で取り組む。
問 平成17年度予算編成に伴い、その編成過程

の事前公表をされたが、その効果と課題は。
市長▼予算編成に対して、市民に関心を持ってもらえたと考えている。また、いっそうの公平性、透明性の確保と一定の基準の整理も必要である。
問 行財政改革を推進するために、組織機構のあり方について抜本的な検討を要すると思うが。
市長▼「行財政改革元年」と位置付けて、積極的に取り組む。7月には

答申を踏まえて形を出したい。
問 税・各種料金の滞納額が10億円を超えている。市民の納税意欲への悪影響も懸念される。滞納者への行政サービスの制限など具体的対策は。
市長▼非常に重要な問題であり抜本的な対策が必要だ。現在、徴収体制を検討中である。
問 京丹後市の子供たちの学力は、府下での水準にあるのか。また、い

の現場対応を聞きたい。
教育長▼小学生は算数が府下平均をやや下回る。中学生は概ね平均の水準。高校入学テストは全体的にやや低い。少人数授業、習熟度別授業等を進めており、教師の授業改善に対する取り組みも始める予定である。



京丹後市の未来は君たちに(大宮第一小学校)